

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	揖保川病院	階数	地上4F
建設地	兵庫県たつの市揖保川町半田703番	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	280 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2020年12月15日
敷地面積	14,028 m <sup>2</sup>	作成者	芦田 貴文
建築面積	1,685 m <sup>2</sup>	確認日	2020年12月24日
延床面積	5,527 m <sup>2</sup>	確認者	山下 健司



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

**Q1のスコア = 3.2**

#### Q2 サービス性能

**Q2のスコア = 3.2**

#### Q3 室外環境 (敷地内)

**Q3のスコア = 3.0**

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

**LR1のスコア = 3.2**

#### LR2 資源・マテリアル

**LR2のスコア = 2.9**

#### LR3 敷地外環境

**LR3のスコア = 3.0**

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> アプローチしやすい病院をコンセプトに、地域にふさわしい空間を作り、病院自体が長生きできる建築を目指している。既存病棟に増築を行うため、既存建物との調和も考慮し、外壁なども周辺に溶け込む色合いを採用している。周囲に一級河川もあり、自然を感じられる配置等を心掛けて計画した。		<b>その他</b> 既存病棟は、外壁を吹付タイルとしているが、増築部分は躯体の保護という点から、全面タイル貼りを行った。内装においても、木パネルで内部を構成するなど自然を取り入れたデザインとしている。
<b>Q1 室内環境</b> 病院に来られる患者様や入院患者様によりよい環境を提供するために、建具は遮音性にすぐれた仕様を採用し、それぞれのベッドに窓を配置するなど、光や空気など、患者様の室内環境に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 将来の改修などにも対応できるように階高の設定を高くし天井高さを確保するなど配慮した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地内にある樹木はできるだけ既存の樹種を残し、舗装なども車の出入りのない部分は砂利や土とし、雨水の流出なども抑えた。外壁も反射のないタイルを選択することで周辺への影響を最小限に抑えている。
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネ基準に対応した断熱性能を確保するなど、熱負荷が減少する仕様とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 井水利用や節水などを行い、再生材料を使用するなど環境に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 現状の敷地内駐車場が減るため、敷地外に駐車場を確保するなど、来院される方の利便性に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される